



「びわ湖大津のひな人形と梅めぐり」を紹介するホームページはこちらから

春の足音が聞こえる大津市。市内では「寺」「美術館」「里山」それぞれの会場で、趣向を凝らした美しい「ひな人形」が鑑賞できます。開催期間中には梅の花がほころび始め、あたりにはほのかな香りが漂います。ここでは4カ所で開催中の催しを紹介します。

西教寺（坂本5）では「ひな人形展」を3月9日まで開催しています。阪神大震災で行き場を失ったひな人形の中には、大変古く貴重な人形がありました。「人形供養」の相談をきっかけに始まった西教寺の展示では、江戸時代、幕末から近代に至り、その時代を反映した人形たち約500体が展示されます。

膳所焼美術館（中庄1）は「江戸時代の雛人形」を

■ ひな人形と梅めぐり（大津市）

寺、美術館、里山で春を体感

①膳所焼美術館で展示されるひな人形「大津市中庄1で」
②石山寺の梅と月見亭「大津市石山寺1で」



同3日まで開催。江戸時代（明和、安永期）から明治、大正、昭和期の貴重なひな人形が展示されます。美しい庭園と、遠州七窯の一つ「膳所焼」の茶道具の展示



も合わせて鑑賞できるのも見どころ。展示会の鑑賞チケットはお抹茶付きです。大津市に本社を構える和菓子「叶匠寿庵」の里山「寿長生の郷」（大石龍門4）では「ひな人形展」を3月31日まで、「梅まつり」を同20日まで開いています。創業者が収集した人形を、江戸期に流行した「享



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

保羅」を中心に小物・道具類を含めた約120点が、自然豊かな里山にて展示されます。「梅まつり」では広大な敷地に咲いた梅の花が楽しめ、「梅」にちなんだ料理や、和菓子やスイーツも楽しめます。

石山寺（石山寺1）では3月18日まで、約400本の梅が一面に咲き誇る梅園と、見頃を迎えた盆梅の展示が行われるイベント「梅つくし」を開催。石山寺門前では梅にちなんだお食事や甘味、お茶などの「梅のおもてなし」もお楽しみいただけます。

歴史と文化が息づくひな人形の展示を巡りながら、梅の名所で春の訪れを感じる…。そんなぜひいたくなくひとときを過ごしてみませんか。

（びわ湖大津観光協会・坪田朋也）